

平成30年度私立大学研究ブランディング事業の選定方法について

4月

公募

7月6日

申請締め切り

8～9月

書面審査・事業委員会

- ・1大学につき3区分の委員が審査
- ①私立大学の運営等に知見を有する者
- ②専門分野に知見を有する者
- ③研究体制の整備に知見を有する者

	タイプA	タイプB	合計
申請校数	α	β	$\alpha + \beta$
(割合)	$\alpha / (\alpha + \beta)$	$\beta / (\alpha + \beta)$	

※ 原則として調査票の点数が40点以上の大学を書面審査の対象とする

※ 合計点数の分布を設定
S 5～15%、A 15～25%、B 35～45%、
C 15～25%、D 5～15%

※ 個々の審査委員によって評点の分布にばらつきが生じるため、標準偏差により補正

■ 第1次候補の選定

- ・最大選定校数(50校)の半数(25校)は、申請状況に応じ、タイプ別の選定校数枠を設定する。
- ・原則としてタイプ別に得点の高い順から選定校として決定するが、審査結果によっては、第2次候補として扱う

	タイプA	タイプB	合計
選定校数	$25 * \alpha / (\alpha + \beta)$	$25 * \beta / (\alpha + \beta)$	25

【選定の観点(例)】

- ①得点(偏差値平均)
- ②評価のばらつき

■ 第2次候補の選定

- ・第1次候補を除き、両タイプを通じて得点の高い順に第1次候補の2倍の数(50校)を候補とする。
- ・候補数から、選定の観点(例)を踏まえて25校を選定する。
- ・審査結果によっては、第1次候補、第3次候補のものも同等に選定することを考慮する。

	タイプA	タイプB
対象校数	$50 + \alpha$	

【選定の観点(例)】

- ①得点(偏差値平均)
- ②評価のばらつき

■ 第3次候補の選定

- ・第1,2次候補を除き、両タイプを通じて得点の高い順に候補とする。
- ・特筆すべき状況がある場合に第2次候補と同等に選定することを考慮する。

	タイプA	タイプB
対象校数	α	

第2次候補と同等に選定することを考慮する。

10～11月

支援対象校の決定